

拡大版④

厚生労働省政策立案ワークショップ 第7弾

医療と患者のこれからの関係を考える

今回は、総合職事務系を志望する学生を対象とした、〔拡大版〕政策立案ワークショップ@本省
「医療と患者のこれからの関係を考える」のご案内です。

「医療」。それは人の「健康でありたい」、「長生きがしたい」という根源的な欲求に応えるため生み出された人類の知恵であり、技術ですが、多くの人は「医療」について専門的な知識を持っていません。このため、「医療」と「患者」には避けることのできない隔たりがあり、時に様々な問題が生じてきました。これに対処するため、古くはヒポクラテスの誓いのような医療側への倫理指針が作られてきたという歴史があります。

では、より文化的に成熟し、より高度化した「医療」を備えた我が国において、「医療」と「患者」にはどのような関係性が求められるのでしょうか。インフォームドコンセント、医療安全、終末期医療、生殖補助医療など、我が国の「文化」にも関わる様々な課題を例に、医療のあり方や患者との関係について考えてみませんか。

【日時等】

「医療と患者のこれからの関係を考える」

日時：平成27年3月26日(木)10:00～16:30

場所：厚生労働省本省（詳細はご応募頂いた方に追ってお知らせいたします。）

内容：政策担当係長より、基礎的な現状やデータについて講義した後、学生の皆さん同士でグループとなり、課題解決のための政策はいかなるものか、議論し、発表してもらいます。学生同士の質疑なども経て、政策担当係長より皆さんの政策案に対する講評や、現在厚労省が進めている政策についての紹介、皆さんとの政策論議等を行います。

【応募方法】

- ・参加には事前申込みが必要です。以下の応募フォーム又はQRコードから予約をお願いします。
お申し込みいただけるのは、第6弾と第7弾のうち、どちらか一方になりますので、フォーム上で選択してください。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/abf22858333556>

※ 応募多数の場合は抽選となります。応募〆切は3月16日(月)です。

